

# 同窓会だより 36

■応化同窓会総会及び川越フォーラム 2019 ホームカミングデー in 川越のご案内  
第33回東洋大学応用化学科同窓会総会、懇親会を下記の日程で開催いたします。  
多くのご参加をお待ち致しております。

【応化同窓会総会】日時：2019年11月9日土曜日

●13:00～13:30 幹事会 会場 応化・情報実験棟 4階 411教室

●14:00～15:00 総会 会場 同上

議題：H30決算報告・活動報告、2019(R1)活動計画・予算案、その他

◆【川越フォーラム&ホームカミングデー in 川越】

※内容変更もありますので、詳細は同封のご案内をご確認ください。

●12:20～13:20 キャンパスツアー予定

●17:30～18:50 交流会予定 (研究口頭発表の優秀賞紹介含み)

■会長からのメッセージ

平素より応化同窓会の活動にご理解、ご協力をいただきましてありがとうございます。  
最近の環境の変化で人と人との繋がり希薄化されている状況の中、どうしたら帰属意識を高めていただけるかを考えさせられております。

また、応化同窓会でも卒業生の皆様にお互いの情報発信や卒業生・在校生が、よりよい「つながり」が持てるように努力していきたいと思っております。

11月には川越フォーラム・ホームカミングデーin 川越が開催されます。

皆様におかれましては、ご多忙と思いますが、ご都合がございましたら是非ご来校いただきまして新たな「つながり」が持てる良い機会にさせていただければと考えております。

同窓会の運営に関しては、大学、理工学部のご協力もいただきながら、活動ができています。同窓会だよりの郵送費用を負担していただいております、同窓会費のなかでは困難な状況になっております。

今後の同窓会だよりなどのご案内は、東洋大学のホームページからのご案内だけならざるおえない可能性がございます。引き続き応化同窓会へのご支援・ご協力をお願い申し上げます。

応化同窓会会長 斎藤 誠

## ■応用化学科同窓会ホームページ facebook のお知らせ

過去や今後の活動 会報 校友ひろば等を掲載しております。皆様の利便性や交流の場としてお使い下さい。また、何かこの様な事をして欲しい等御座いましたらご連絡ください。

URL <http://toyo-ouka.com/> FB 東洋大学応用化学学科同窓会 ご検索下さい。

東洋大 HP より卒業生の方 川越キャンパス同窓連絡協議会内各学科同窓会から御覧頂く事が出来ます。同窓会だよりをこれまで郵送で発送していましたが、HP 上にアップする方式に今後変更していきます。ご了承のほどお願い申し上げます。



## ■学生支援 2019年度 実践職業論

実務に従事している卒業生のお話を聴いて、ものづくりのひろがり学び、ものづくりのプロセスを知る／実務での姿勢、心構え、倫理、哲学の重要性を知る／将来のキャリアプランを描くことを支援しています。春学期水曜5限（16時30分から18時）全15回

第6回(5/22) 株式会社コロンブス 研究 楡井智子様 シューケア用品の商品づくりとケア方法について  
工学研究科応用化学専攻(2001卒)

第7回(5/29) 株式会社ヒダン 商品開発本部 宮島貴子様 社会人3年目「口紅容器」と向き合う日々  
応用化学科(2016卒)

ご講義いただきありがとうございました。

## ■訃報

井原正吾先生 2018年12月29日、78歳をもって永眠いたしました

1963年3月に大阪工業大学工学部応用化学科を卒業、同年4月東洋大学工学部応用化学科助手、1979年4月東洋大学工学部応用化学科講師、2010年准教授、2010年3月に博士（工学）の学位を取得、2011年定年退職

研究は天然有機化合物、特に天然油脂の成分解析、動植物成分や医薬品、核酸を構成する複素環化合物の新規合成法を研究開発)

ここに謹んでお悔やみ申しあげお知らせいたします

## ■平成 30 年度応化同窓会賞・連合育成会賞報告

- ・秋学期卒業生<平成 30 年 9 月> なし
- ・春学期卒業生<平成 31 年 3 月> 131 名卒業

三浦 宏太 (ミウラ コウタ) 「耐/好塩性キチン分解酵素生産菌の探索とその諸性質解析」  
生命工学研究室 (担当教員: 峯岸先生)

高野 優輝 (タカノ ユウキ) 「Fusarium 属菌を用いたトリコセン C-4 位配糖体の創製と構造確定」  
食品生物化学研究室 (担当教員: 安藤先生)

藤野 あずさ (フジノ アズサ) 「海外下水向け付着型硝化担体の性能評価」  
環境工学研究室 (担当教員: 井坂先生)

小熊 教之 (オグマ ノリユキ) 「Co-Cu 二元系触媒を用いたマリモカーボン合成の試み」  
ダイヤモンド研究室 (担当教員: 蒲生先生)

渡辺 麻友 (ワタナベ マユ) 「フィブリンゲル組み込みマイクロ間質モデルを用いるナノ粒子透過試験」  
分析化学研究室 (担当教員: 佐々木先生)

- ・平成 30 年度春学期 同窓会連合優秀卒業研究賞<1 名>

杉本 茉莉花 (スギモト マリカ) 「多孔膜垂直配置マイクロ流体デバイスを用いる免疫細胞の走化性アッセイ」

分析化学研究室 (担当教員: 佐々木先生)

## ■お知らせ

応用化学科長は吉田泰彦先生から蒲生美香先生へ交代されました。

## ■研究室紹介 第3弾 高分子材料研究室 担当: 石井茂先生

当研究室は山下教授の定年・退官に伴い、後任として石井が着任し開設されました。研究内容は前任校の成蹊大で行っていた天然高分子 (主にキチン・キトサン) の化学修飾による機能性材料の開発と、新たにメタセシス反応を用いたマクロライドの合成を行っています。天然高分子のキチン・キトサンは、資源的にはセルロースに匹敵すると言われていたが工業的な応用例は少なく、残された最後のバイオマス資源と呼ばれており、その有効利用が望まれている天然高分子である。天然多糖の特性を残しつつ、合成高分子の優れた加工性を付与した新しい機能性材料の開発を目指している。もう一つの研究テーマであるマクロライドの合成では、メタセシス反応を応用した合成の困難な中・大員環ラクトン、種々のマクロライドの合成を行っている。将来的にはムスクの合成を目指している。化学修飾・合成には分析技術を含め様々な手法があり、配属学生の皆さんには未来の技術者・研究者として、役立つ知識、技術の取得に努めている。

### 主な研究テーマ

- ・ 水溶性キチン・キトサン誘導体の調製と生分解性樹脂への応用
- ・ キトサン誘導体を用いた高分子触媒の開発
- ・ メタセシス反応を用いたエチレンブラシレート合成

## ■ 寄付募集

新規会員の会費徴収が難しい状況が続く中、毎年このような会報で活動を継続しております。今後更なる同窓会の発展、在校生への支援などさらに充実していく必要があると考えております。つきましては、趣旨をご理解いただき皆様のご支援とご協力を賜りますよう、何卒お願い申し上げます。 郵便振替口座：00140-5-86601

## ■ 校遊ひろば

同窓会からの連絡だけでなく、会員皆さんの交流を図る「校遊ひろば」にお便りをお待ちしています。皆様の現況、めったに会えない同窓生へ伝えたい事や同窓会へのご意見などお寄せください。このコーナーへの寄稿を機にみなさんの交流が新しく開ける事を期待します。原稿は、800字位でお願いします。

宛先〒350-8585 埼玉県川越市鯨井 2100 東洋大学応用化学科同窓会事務局 相沢まで

開設ホームページのトップページです。



東洋大学 応用化学科 同窓会

HOME 会長挨拶 会則・規約 活動報告 会報 校遊ひろば

東洋大学応用化学科同窓会に参加しませんか？

応用化学科には、卒業生、教職員相互の親睦を深めるための「**応用化学科同窓会**」があります。学部、大学院の卒業生、教職員から構成されており、活動内容は会報の発行、講演会・同窓会等の開催を行っています。

これらの活動は世代を超えた卒業生間の親睦を深め、川越キャンパス連合育成会にも加入しているので、社会で活躍していくうえで重要なネットワークを作る手助けとなると思います。

また後輩への支援の一つとして毎年、「応用化学科同窓会賞」・「応用化学科同窓会奨励賞」として、奨励金の授与、表彰を行っています。

4年生はこの**応用化学科同窓会の準会員**となっており、卒業後は**正会員**になります。会員からの寄稿文や大学の近状等を満載した会報「**同窓会だより**」の送付、講演会、総会・懇親会の案内等の連絡のため、卒業までに「住所調査カード」を出してまいります。

以上の様な同窓会の活動は、皆様から寄せられた会費を資金とし、卒業生有志が幹事となって運営しています。

東洋大学応用化学科同窓会会報 第36号

発行 2019年(令和元年)7月

発行所 東洋大学応用化学科同窓会

〒350-8585 川越市鯨井 2100 TEL 049-239-1370 FAX 049-231-1031

URL <http://toyo-ouka.com>